

目次

- ①なにをやるのか
- ②なぜやるのか
- ③誰がやるのか
- 4いつやるのか
- ⑤どこでやるのか
- ⑥どうやってやるのか
- ⑦これからの予定

①なにをやるのか





国高祭の卒業生が 廃校を舞台に変えて クラスを超え学年を超え、 もう一度演劇をする。

2なぜやるのか

1.純粋に、絶対すごいから。

国高を卒業しそれぞれが 学んだ(学んでいる) 専門的な知識・技術の融合 他学年のあの人と、他クラスのあの人と。今だからこそ、一緒にできる。

2.日本一の文化祭がやることに意味があるから。

センター試験が廃止になり高校教育が見直されている今、 勉強と同じくらい、もしくは勉強よりも大事なことが文化祭には 詰まっていることを、日本一と呼ばれる文化祭をやってきた僕らが 伝えたい。

3.廃校の再活用

日本の廃校問題は深刻で、過去12年間で約6000校もの公立学校が廃校になっている。東京都は都市部の定住者が減少したこともありワースト2位で245校も廃校になり、跡地には廃校舎が残る。国高祭の時のように廃校舎の教室さえも舞台に変えてしまい、使われなくなったその場所に新たな価値を見出したい。

③誰がやるのか



4いつやるのか

説明会(11,24) **Today** 6 11 作業!! 運営メンバー集め 7 12 運営はこの二ヶ月が 資金調達 一番忙しいです! 場所確定 劇団体制確定 8 劇団メンバー募集 脚本確定 劇団はこの一週間命! 夏休み合宿 →内装・外装草案完成 2 →脚本たたき上げ →キャストオーディション 本番一週間前 集中作業 →内装外装組み立て 国高祭!!みんなで行きましょう →キャスト練習 3 10 キャスト決定 超国高祭当日(3/23,24,25)

1.池袋みらい館大明

アクセス良い。 一日約2万で一教室借りられる。 決まりごとは多い。





2.奥多摩フィールド

アクセス悪い。一日5万で全校舎借りられる。森。The 廃校。





6どうやってやるのか

運営の仕事

内向け

実行委員メンバーの募集など

調達

クラウドファンディング、国高同窓会 (後援会)、大人の国高祭との連携、 チケットなど

外向け

資金調達のための広報 超国高祭のチケット広報など

広報

会計

国高祭のクラス会計のような 仕事です。 資金

場所

会場

当日の会場(都内廃校) を下見、確定する。

体制

劇団の体制決めなど、 劇団メンバーを募集する体制を 整える。

7,8月(テスト期間除く)は 何かしらの形(集まれない時は Skype通話など)で 週1ペースでミーティングを 重ねます。スピード感で 一気にやり遂げましょう。 6どうやってやるのか

資金の話

ざっくり

支出

歳入

木材

内装(舞台/客席)

外装

30万

廃校レンタル代

準備期間7日+当日2日+片付け1日=10日

池袋=20000/日

20~50万

奥多摩=50000/日

演劇小道具

音響・照明レンタルetc

20万

雑費

木材廃棄代/稽古場代 etc

10万

チケット代

9公演,1公演の客員数80人

1枚1000円(仮)×80×9=72万

72万

実行委員会費

1万×30人=30万

30万

4

クラウドファンディング

後援会

廃校/地域おこし協力系

合計

100万円くらい

<u>どこまで上の費用を限りなく</u> ゼロにできるか

⑦これからの予定

運営に加わってくださる方

→6月末までにGoogleフォームから申し込みいただき、 7月の第1週の第一回運営ミーティングから活動が始まります。

劇団に興味のある方

→運営との兼務も可能です。また、劇団だけに力を注ぎたい方は今のところ、運営が場を作るのをお待ちいただく形になって います。

参加を迷っている方

→ご相談ください。高校とは違って作れるものの可能性が広がった今、様々な関わり方の形があると思っています。ほんの少しでも、お力添えください。

ご意見お待ちしています。